

シリーズ わたし す 私の好きな きょうと 京都

発行：(公財) 京都市国際交流協会
http://www.kcif.or.jp

わたし み きょうと
私が見ている京都

サボー・ジュジャンナ* (ハンガリー)



私が見ている京都を体に例えたら、腕は山です。山に囲まれて生きて行き、抱き締められていると感じる人もいれば、首を絞められていると感じる人もいでしょう。名作映画の「風と共に去りぬ」でレット・バトラーがスカーレット・オハラに「タラのこの赤い土がお前の支えなんだ」と言うのを知っていますか？私の支えは京都の山。例えば、圓光寺の奥の方の高台のベンチに座って、山に守られていると感じてみてはどうでしょう。

私が見ている京都の足は鴨川です。着物を着て下駄を履いた女性のように、ゆったり進んでいく感じは京都そのもの。暖かい春の日に鴨川デルタの飛び石に座って、京都と足を組んでみましょう。

私が見ている京都は
髪の毛が緑のときがいい



鴨川の飛び石

です。染めただけの新緑。おしゃれな京都は髪をピンクや赤に染める時もありますが、ファンが群がり集まったら、私にとって近づきがたくなります。周りが騒ぎすぎているとき、修学院離宮の方の森に入り込んで、一人で比叡山に登ってみたいと思います。

私が見ている京都は無口です。気づいたことがないかもしれませんが、街の真ん中の四車線道路の道端に立っても、周りが完全な沈黙になる瞬間があります。夜遅く家に帰るとき、例えば百万遍など、大きな交差点で少し足を止めて、都会の沈黙に集中してみよう。

私が見ている京都の心臓は町屋です。掌を壁に寄せ、裸足で土間に立ったら鼓動が感じられる気がします。京都の西の方に鼓動を合わせて、町屋と共生しているハンガリー人家族がいます。facebookでdomaichiを見つけて、彼らが開催する町屋イベントに参加してみよう。

私が見ている京都の苦い胆汁は多様性と時代変化の否定です。少し使い古された表現を引用して申し訳ありませんが、多様性に関しては「虹はいろいろな色があるからこそ美しい」、時代変化に関しては「常に変化し続けるものは命のないものだけだ」ということがよく言われています。カラフルで生き生きした京都を作れたらいいと思います。もし、「違う」自分が周りに理解されていないという苦い味を感じてきたら、kokokaのような、多様性と時代変化を認めてくれる場所に行ってみよう。

6 ページに続く

©あなたの感想を聞かせてください → office@kcif.or.jp

外国人のための情報誌「Life in Kyoto」でPRしませんか？
ADVERTISE your activities in the "Life in Kyoto" newsletter!



LIK
2ヶ月に1回発行
1枠 10,000 円～

広告募集中!!

☎075-752-3511 ✉office@kcif.or.jp

「Life in Kyoto」を一緒に作りませんか？

ボランティアスタッフ募集

企画、取材、執筆、編集...etc
あなたの「得意」を活かしませんか？

お気軽に
お問合せください ☎075-752-3511 ✉office@kcif.or.jp



ぼんおど おど 盆踊りを踊ろう！

日本の踊りにもいろいろあります。日本人は歌舞伎や日本舞踊のような踊りを見るのが好きなことで知られていますが、元々は集団で踊る「参加型」の踊りが大好きです。「盆踊り」は、日本の庶民に昔から親しまれていた、参加型の踊りで、その始まりはおよそ500年以上も前ともいわれています。ここ京都で昔から親しまれているのは、江州音頭という、滋賀県が発祥といわれている盆踊りです。



ぼんおど たいかい
盆踊り大会

盆踊りでは「やぐら」と呼ばれる高いステージを建てて、そこには歌い手、コーラス、そしてバンドのメンバーがいます。ステージでは「音頭取り」といわれる歌い手と、合いの手を入れるコーラス隊が、日本太鼓や鈴の音に合わせて歌います。音頭取りの歌には決まったフレーズもありますが、リズムに合わせてアドリブで歌う場合もよくあります。その音頭のリズムと歌は、よくラップミュージックにも例えられ、聞いているだけでもとても面白いです。やぐらの周りをたくさんの人が囲んで、歌と音楽に合わせて踊ります。この踊りには決まったステップがあり、みんなで同じ踊りを踊り続けます。踊りの上手な人たちは、少し自分流にアレンジして踊ったりもします。踊りながらコーラス隊と一緒に合いの手を入れるのも一体感が生まれてとても楽しいです。

しかし最近は音楽がうるさいと苦情がくることもあり、年々その数は減ってきています。私の子供のころは、夏祭りの会場となる鴨川沿いや近所の神社などで、盆踊りのやぐらが建っているのをよく見かけたものでした。そんな日本の庶民の踊る文化が衰退していくのはさみしいものです。

そんな中、京都で盆踊りが少しずつ復活しつつあります。復活の発起人で音楽家のスズキキヨシさんは、盆踊りを行わなくなってしまった地域の人々に呼びかけて盆踊りを復活させました。盆踊りを知らない若い人たちも一緒に踊れるようにと、練習会も開かれました。教えてくれるのは、その地域のお年寄りたちです。お年寄りたちが、いかに盆踊りに馴染んでいたかがわかります。こうしてこの地域の盆踊りは、当日大盛況となりました。

今年の夏はみんなの踊り、盆踊りを一緒に踊り、みんなで一体感を楽しみましょう。踊りを知らなくても大丈夫。みんなと同じように踊ればいいのです。盆踊り大会の前には練習会も開かれます。

老いも若きも男も女も、みんなやぐらを囲んで輪になって、歌って、踊りましょう！

【練習会】

6/16 (日) いきいきワークショップフェスティバルにて海外留学生と練習会
15時～16時30分 左京西部いきいき市民活動センター
7/27 (土) 錦林盆踊り大会 前日練習会
19時～21時 左京東部いきいき市民活動センター

【盆踊り大会】

7/28 (日) 錦林盆踊り大会 高岸南公園 (京都市左京区鹿ヶ谷高岸町 37)
18時～21時 (盆踊りは19時から)
8/3 (土) ようせい夏まつり
養正児童公園 希望の広場 (京都市左京区田中馬場町 6-2)
17時～21時 (盆踊りは20時から)
8/31 (土) 吉田東通り夜市 京都市左京区 吉田東通り商店街
17時～21時 (盆踊りは20時から)

とくだ もとこ
徳田 宗子



スズキキヨシ氏

音楽の楽しさを追求し続ける
パーカッショニスト。90年代より
地域での音楽活動を開始。現在、
京都にて盆踊りをはじめとする
地域社会の活性化を進めている。

坂本龍馬 – パックス・トクガワ* の遺産 (第二章)

前回号の Life in Kyoto から続く坂本龍馬の物語、今回が一番の山場です。

龍馬は子供のころ、三人の姉と、家の長子である兄にとっても愛されました。龍馬は兄と異なり、家名とその財産を引き継ぐ責任をもたなかったため、彼自身の夢を自由に追求めることができました。また、やさしい姉たちや兄は、龍馬が人生を最大限に楽しみ、また人生で何かを成し遂げることができるようにと、成長する彼を鍛え、教育しました。



京都 寺田屋

坂本龍馬が歴史の表舞台に登場したころ、パックス・トクガワの時代における民主化のプロセスは、最後の段階に到達しつつありました。ペリーの黒船と火砲がもたらした暴力の脅威に対抗するため、大名が治める各藩の直系家族の人々が、こぞって意見をあげていたのです。この民主化のプロセスがどれだけ大きく進んだのかは、徳川幕府**がどれくらいの兵を集められたのかを見るとわかるでしょう。幕府は、倒幕と明治維新を目指す勢力に対抗するため、軍を組織しましたが、それはわずか 15,000 人しか集めることができず、しかもその装備も貧弱なものだったのです。さあ、ここからが、坂本龍馬と京都にまつわる物語の *pièce de résistance**** です。それは気骨ある日本の若者であれば、だれもが恋焦がれるような、恋物語、犠牲、もくろみ、そして幸福が織りなす物語です。



梅の間

龍馬と、彼の美しい恋人、榎崎おりょうは、よく京都の寺田屋旅館に、二人だけの時間を過ごすために滞在しました。おりょうには、彼女の愛を感じさせる逸話があります。100 人あまりの幕府方の役人が寺田屋に押し入り、龍馬を逮捕しようとした時のことです。危険を察知したおりょうは、その時お風呂に入っていたのですが、裸のまま、急いで階段を駆け上がり、龍馬に危険を伝えたといいます。浴槽付きの浴室は階下に、二人の寝室であった梅の間はその上の階にありました。また、龍馬の姉たちのうちの一人は、自らを犠牲にし自害することで、幕府に追われていた、愛すべき弟を守ろうとした、と言われています。そして、龍馬にまつわる逸話には、敵対する長州藩と薩摩藩の間をとりなして同盟を結ばせ、幕府に対抗する同盟勢力としたことや、国の水軍を結成する貢献をしたことなどがあります。また彼は、近代的なビジネスのやり方と、マネジメント手法を取り入れた商会をも設立しました。



美しい龍馬の妻 榎崎おりょう

ほかに、龍馬はおりょうと結婚し、日本で最初の新婚旅行をしたと言われています。それ以来、新婚旅行に行くことは、新しい日本人のカップルが必ず行う習慣となったのです。かりに龍馬が生き続けたならば、おりょうと共に、幸せな生活を送ったことでしょう。

京都には、ほかに龍馬の物語にまつわるものがあります。寺田屋は今も現存しており、そこに行けば、あの梅の間と浴室を見ることができます。また、京都には龍馬通りという名前の通りがあります。そこをのんびりと散歩すれば、坂本龍馬の物語と、近代日本の成立における京都の役割について、深く理解することができるでしょう。

* パックス・トクガワ…徳川家康が 1603 年に征夷大将軍となってから、1868 年の明治維新までの間の、長く続いた 平和な時代。一般には「江戸時代」としてよく知られる。

** 徳川幕府…ペリーが黒船で江戸に来航した時の日本の政府。

*** *pièce de résistance*…フランス語で、「主要な、特筆すべき要素」という意味。

真田 清二 著、Sho 訳

女子ラグビーチーム「京都ジョイナス」

今年、日本ではラグビーのワールドカップが開催されます。2015年にイングランドで行われた前回の大会では、日本が優勝候補の南アフリカに勝ち、世界から注目を集めました。自国での開催となる今回も、日本代表に期待が集まっています。

ところで、皆さんは関西のラグビーが京都で始まったことをご存知ですか。1910年に第三高校（現在の京都大学）の学生が下鴨神社の糺の森で練習したのが始まりで、現在、そこにはラグビーの神様を祭る雑太社が建っています。昔からラグビーが盛んだった京都にはラグビーチームも多いですが、今回、その中から女子チームの「京都ジョイナス」を紹介します。

京都ジョイナスは2013年にできた中学生が主体のチームです。週末と祝日に練習をするほか、ジュニアの大会などにも出場しています。今回、私も京都ジョイナスの練習を観に行ってきました。

この日は朝8時から練習が行われました。選手たちは約1時間に渡り、走ってパスをしたり、ラックなど基本的な練習を行いました。そして、ひとつの練習メニューが終わるごとに選手が集まり、コーチが気がついた事を指導していました。短い時間でしたが、選手の皆さんは、真剣な中にも楽しそうに練習をしていました。

練習後、選手の皆さんにお話を聞きました。まずラグビーを始めたきっかけを聞くと、親がやっていた影響で始めたという選手が多かったです。また、ラグビーの楽しいところを聞くと「みんなと一緒にできる」、「ストレス発散」と言っていました。そして、将来の夢を聞くと「日本代表選手になりたい」と言った頼もしい選手もいました。

また、スタッフの皆さんにもお話を聞きました。コーチの中住院一さんと武田雄作さんに選手の指導で心がけていることを聞くと「このチームにはいろいろな学校から選手が集まっていて、仲良く楽しんでプレーしています。その中で、感謝の気持ちや誠実さを忘れず、ラグビーを通して芯の通った女性になって欲しい」と言っていました。また、京都府ラグビーフットボール協会的女子委員長で京都ジョイナスの運営を担当している赤月幸子さんは、チーム運営に関して「中学生がメインなので、選手が成長する過程を見られるのが楽しい。そして、愛されるチームや選手作りを目指している」と言っていました。

京都ジョイナスでは、女子ラグビーの普及にも力を入れていて、選手も募集しています。男子に比べて女子選手はまだ少ないです。赤月さんも「ラグビーは男性のスポーツだとか危険なスポーツだと思っている人も多いですが、それは誤解です。ラグビーは誰でも気軽にできるスポーツです」と言っています。ラグビーをやってみたいと思った女性の方は、京都ジョイナスでラグビーを始めませんか。大人でも外国人でも構いません。詳しくはfacebookページをご覧ください。



練習風景



「京都ジョイナス」

facebook : <https://www.facebook.com/kyotojoinus/>

メール : rugby_kyoto_girls777@yahoo.co.jp

鈴木 秀利

日本には災害が多い～kokoka 防災訓練 2019～

日本には地震・台風・豪雨などの災害があり、特に地震により起こる津波・火災・建物の倒壊で多くの死者がでてきました。それを防ぐために何よりチェックしなければならないのは、多くの時間を過ごす自宅とその周りの安全です。ここでは火災について触れます。その要因となる火気を普段扱うのは台所で、都市ガスなどは強い地震では最近では自動的に遮断します。更なる安全策として、ここには可燃物を近づけないようにしましょう。加えて、旧式の電気ストーブは安全面が弱いので、衣類など高温になれば発火する可燃物を近づけないようにしましょう。地震時に避難するときには、ブレーカーを落とし電気を遮断しましょう。

避難所については地域毎に指定されていて、その一つである kokoka では、防災訓練を実施しています。今年はどうような訓練を予定しているのか kokoka の木林さんに取材しました。木林さんは「地震の無い国からの外国人は地震そのものを経験したことがありません。訓練では起震車で地震の揺れを体験できます。」を真っ先に挙げました。続いて「消火訓練や心肺蘇生（AED）訓練なども行います。災害を知り、その時にどのような行動をすればよいか、みんなで学びます。」と紹介がありました。



起震車体験

防災について経験し備える機会にしませんか。

【kokoka 防災訓練 2019】

日時：6月15日（土）午前11時から午後4時まで

場所：kokoka 京都市国際交流会館

参加費：無料、非常食の食事が出ます

対象：外国籍住民、日本語の分らない方

申込：ホームページもしくは電話（075-752-3511）



古田 富好



初期消火訓練

kokoka 京都市国際交流会館
図書・資料室

としょレター

2019/6・7

📖 オススメの一冊

『ブレケル・オスカルの
バイリンガル日本茶 BOOK』
（ブレケル・オスカル 著、淡文社、2018）



←kokoka

煎茶、玉露、かぶせ茶、番茶、ほうじ茶、粉茶…。

これらはすべて日本茶の種類です。この本では各種類の違いがわかりやすく説明されています。

そのほか、日本茶の産地やおいしい淹れ方も紹介されていますので、みなさんぜひ、図書・資料室へ読みにきてくださいね。

ちなみに kokoka が好きな日本茶は「ほうじ茶」です。あの香ばしい味が気に入っています。

※kokoka は京都市国際交流会館のマスコットです。

『かわいいロシアの AtoZ 愛おしくて素朴なデザインたち』（岡田美保 著、青幻舎、2018）には、建物・おもちゃ・食べ物など、ロシアのかわいいデザインがたくさん紹介されています。とても癒されますよ。この本の著者は、ロシアを約40回訪れたことがあるそうです。40回は驚きです。すごい！
kokoka もロシアに行ってみたいです。

📖 図書・資料室には こんな本もあります

外国人が日本で生活するための本

日本語学習、法律ビザ、日本文化、京都観光、いろいろな国の新聞

日本人が外国を知るための本

海外旅行、留学、ロングステイ、ワーキングホリデー、ボランティア

貸し出しはしていません。

【オープン】9:30～20:30
（月曜日・月末最終日閉室）

【TEL】075-752-1187

【FAX】075-752-3510

1 ページから続く

私が見ている京都の子宮は現代の芸術です。あまり表面には現れません、現代の芸術の在り方に都市の将来がかかっていると思います。京都では能や歌舞伎、日本舞踊のような伝統文化が宣伝されることが多いですが、ときどき「アバンギルド」のような暗いライブハウスや「アンダースロー」のような隠れた劇場に行き、現代の芸術を掘り出しましょう。

* 著者は9年間京都に住んでいて、日本近代文学を研究している留学生です。

あたらしい げんごう れいわ 新しい元号「令和」

4月1日のテレビニュースは、新しい元号の話題でいっぱいでした。元号は以前は年号ともいわれ、暦に付ける呼び名のことで、日本では官公庁や会社などの書類によく使われています。また、生年月日をいうときにも使います。

でも、今回の改元のように2019年4月30日までは「平成」、5月1日からは「令和」、平成31年と令和元年（普通、元号の1年は元年と呼びます）が同じ年、ちょっと不便な感じですね。ただ、「平成生まれ」とか「昭和の歌謡曲」とか、だいたいの年代や時代を感じ取ることができるのは便利で、まだまだ、西暦だけを使う人は少ないようです。

日本語が母語でない皆さんは、「敬語」で苦労した人も多いと思います。日本語の敬語は話し手と聞き手と話題にする人によって、使い方が変化します。天皇を話題にするときは、最高の尊敬語を使うので、今、テレビを視たり、新聞を読んだりすると、ふだん使わない敬語も目にすると思います。

注意して欲しいことは、天皇の一般的な呼び方で、以前の天皇は、「昭和という元号の時代の天皇」という意味で昭和天皇と呼びます。しかし、新しい天皇は「天皇陛下」だけです。「今の」という意味の「今上」という言葉を付けて「今上天皇陛下」という呼び方もします。決して、「令和天皇」という呼び方はしません。陛下というのは日本では天皇と皇后、そして、新しい天皇に位を譲った上皇と上皇后にしか使わない敬称です。

「令和」は、新しく作られた言葉です。「令」が美しい、「和」が調和という意味を、漢字のいろいろな意味の中から取って、組み合わせたとします。日本の歴史や文化に興味がある人は、引用された「万葉集」や「和歌」について調べてみるのも、おもしろいと思います。

筆者の個人的な考えですが、「令和」は平和という言葉に連想しやすく、「れいわ」の言葉の響きは澄んだ美しさ、やさしさを感じます。昭和から平成になったときは、なにかが終わったという思いがしましたが、今は、元旦のようになにかが始まる、という新鮮な気持ちでお祝いしたいと思います。

かわさき まさし
川崎 雅司

メンバー

生田 稔 / 岩井 ニコラス / カール ジャンスマ / 金谷 千菜美 / 川崎 雅司 / 郭 聖宏 / 古園 美樹 / 鈴木 翔 一 朗 / 鈴木 秀利 / 徳田 宗子 / ピーケー カサラソン / 古田 富好 / 三河 由里奈 / 矢木 貴之 / 八木 俊幸 / 湯澤 公朗 / 林 秀 鳳

kokoka のホームページで LIK の過去号を読むことができます。

発行: (公財) 京都市国際交流協会 (<http://www.kcif.or.jp>)

TEL: 075-752-3511 FAX: 075-752-3510 E-mail: office@kcif.or.jp

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町 2-1 地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より 徒歩 6 分

開館時間: 9:00 - 21:00

休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日休館)

